

知事コメント

令和3年3月29日(月)

本日、沖縄県内で新たに42名の新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認されました。月曜日としてはかなり多い数となります。先週の月曜日が18名、その前の月曜日、3月15日は16名と、この2週間は、いずれの曜日も、前の週の数を上回っている陽性者数となっています。

沖縄県独自の緊急事態宣言を終了し、3月以降は「再発警戒段階」にあるものという認識から、警戒を続けておりましたが、歓送迎会や人の移動が増える3月後半にかけて、感染拡大の速度が上昇しています。3月21日と28日時点の直近1週間の新規感染者数を比べると、1.9倍以上となっており、驚異的な速度でリバウンドが起きていると見られます。残念なことに、第4波が到来したと言わざるを得ないと思えます。

現段階においては、感染者の多くを20代から40代の世代が占めています。ちなみに今日の42名を世代別に見てみますと、10代以下が4名、20代から30代が22名、40代が3名、合計29名。これは42名に対して69%という高い数値になっています。

このままの状況が続くと、この若い世代から次第に高齢者にも感染が拡大し、入院治療が必要な重症・中等症の患者が増えることとなります。今後、各市町村におけるワクチン接種を円滑に実施するためには、多くの医療従事者の協力が必要となります。切り札とも言われるワクチン接種のためにも、感染拡大によって医療がひっ迫する状況は、絶対に避けなければなりません。

長期にわたるコロナ禍で、県民生活や県経済は大きな影響を受けています。ゴールデンウィークまで感染状況に改善が見られなければ、さらに深刻な影響を及ぼしかねません。県経済を回復させるためにも、一日も早く感染状況を改善させる必要があります。

この感染急拡大を封じ込めるため、「緊急特別対策」について、本日、対策本部会議を開催して決定しましたので、ご協力をよろしくお願い致します。以下、発表いたします。

まず、営業時間の短縮についてです。

感染経路が飲食関係の陽性者数が爆発的に増えています。そのほと

んどが那覇市を初め沖縄本島中南部に集中しています。

市町村によってばらつきはありますが、徹底的に感染を封じ込めるため、沖縄本島中部・南部の市町村全域の飲食店及び遊興施設等に対して営業時間を朝5時から夜9時までとし、酒類の提供時間は朝11時から夜8時までといたします。

ちなみに、那覇市保健所管内、中南部保健所管内のうち、離島町村を除く20市町村が対象となります。

時短要請期間は4月1日から4月21日までの3週間とします。

時短要請の効果を高めるためにも、業種別ガイドラインの更なる徹底をよろしくお願いいたします。このことは、飲食業の組合に加盟している加盟していないに関わらず、全ての方々が対象となりますので、是非、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、そのような手立てを講じても感染状況に改善が見られない場合には、要請期間・時間帯や内容などの見直しを検討することといたします。

緊急特別対策の期間中の外出については、必要最小限としていただき、会食を行う場合についても、4人以下・2時間以内、そして同居家族などの普段一緒にいるメンバー同士で行っていただくようお願いします。くれぐれも、歓迎会や送別会、模合などについても、引き続き自粛をお願いします。ゴルフやスポーツの後の、マスクを外しての打ち上げも、自粛をしていただきますようご協力をよろしくお願いいたします。

職場や店舗、施設等における感染対策は、そのお店や企業の代表者や幹部職員にも責任があり、皆様のリーダーシップが重要です。

従業員の体調管理を徹底し、体調不良の方は出勤しない、させないようお願いします。マスク着用の徹底や感染リスクが高まる「5つの場面」に注意するなど、感染拡大を防ぐ取組の徹底をお願いします。

なお、飲食店や遊興施設でも、従業員の方々には、しっかりとマスクを着けて、お客様と相對していただくようご協力をよろしくお願いいたします。

県境をまたぐ往来や離島への往来については、事前の十分な健康観察と、飲み会の参加を控えるなど、感染防止策の徹底及び出発前のPCR検査受検をお願いします。那覇空港の「NAPP」や最寄りの検査センターなどを、県民の皆様にはご活用いただきたいと思います。

また、各都道府県独自で外出自粛要請を行っている地域がありますので、そのような地域との不要不急の往来は、自粛の協力をお願いします。

4月に入ると、入学式や入社式が各地で開催されることと思いますが、式典の主催者におかれましては、感染対策に十分ご注意の上、規模縮小などの工夫をお願いします。

加えて、県内では清明祭(シーミー)のシーズンとなります。久しぶりに会う親戚同士、ご先祖様にお線香をあげて、お墓の前でクワッチー(ご馳走)をウサンデー(お供え)してウサガル(食べる)という大事な年中行事ですが、今年のシーミーは、家族単位で行うなど、できるだけ少人数とし、短時間で行うなどの感染対策が必要です。

これまでの経験等を踏まえますと、感染拡大を封じ込めるためには、各市町村や関係団体も一丸となった取り組みが重要です。緊急特別対策の実効性を高めるため、市町村等と連携して広報や巡回活動などを実施してまいります。

まだ未知の部分が多く、変異株という脅威も残る新型コロナウイルスですが、感染対策の方法については明らかになってきています。接触と飛沫です。それを、手洗い、うがい、マスク、換気と空間距離等々、これまでに何度も皆様に協力をお願いしてきたこと、それを徹底して実践していただくに尽きるものと思います。

そして、ワクチンについても接種が開始されています。5万8千名の医療従事者のうち、1万2千人に、1回目のワクチン接種も済んでおります。約20%に相当すると思います。

ワクチン接種を確実に実施していくためにも、そして、今年のゴールデンウィークは晴れやかに過ごすためにも、皆で一丸となって、今このときにしっかりとこの感染を封じ込めてまいりましょう。ご協力をよろしくをお願いします。